

CASBEE_Sapporo2014v1.0 (仮称)大通西19丁目マンション新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)					
スコアシート		実施設計段階		重点評価項目 : W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理						
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.5	
Q1 室内環境							0.40	-	3.9	
1 音環境						4.0	0.15	3.4	1.00	3.5
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						5.0	0.50	3.8	0.50	
1 開口部遮音性能						5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	5.0	1.00	4.4
2.1 室温制御						2.6	0.50	5.0	1.00	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能				W		2.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						2.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	4.0	1.00	3.7
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率						5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備				W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御				W		2.0	1.00	4.0	1.00	
2 映り込み対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質						4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策						-	-	-	-	
4.2 換気						3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.6
1 機能性						4.0	0.40	4.4	1.00	4.3
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務						-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				W		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				W		4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				W		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				W		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				W		4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				W		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり						-	-	3.6	0.50	
1 階高のゆとり						-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ						3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	

CASBEE Sapporo2014v1.0 (仮称)大通西19丁目マンション新築工事				欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE Sapporo2014v1.0 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)			
スコアシート		実施設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理					
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									
LR1 エネルギー									
1 建物外皮の熱負荷抑制	W			断熱性能等級4を設定。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	W				2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化				BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.82	3.1	0.50	-	-	3.1
集合住宅以外の評価(3a,3b)	W				-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	W			一次エネルギー消費量、断熱等成功等級が等級4を満たす。	3.1	1.00	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					-	-	-	-	
4.1 モニタリング	W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				-	-	-	-	
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル									
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				節水型水栓水型便器を使用しています。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減	W				2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W			-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W			-	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。(躯体・LGS・仕上材)ユニットバス、システムキッチン、洗面化粧台ユニットを採用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	W				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W				3.0	1.00	-	-	
3 冷媒	W				-	-	-	-	
LR3 敷地外環境									
1 地球温暖化への配慮					2.7	0.33	-	-	2.7
2 地域環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止	W			潜熱回収型を使用しています。	4.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	W	G	S		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	W				-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制					2.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	W		S		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2 振動					-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				光害対策がイドラインのチェック項目の過半を満たしている。過剰な外部照明の抑制しセンサーやタイマーを使用。広告塔はなし	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	